

地域とともに歩み、支えあえる公民館を目指します。地域のお話を寄せてください。

令和7年度 No.1
なでしこ 4 月号
だより

発行 平塚市立なでしこ公民館

〒254-0825 平塚市撫子原12-54

電話:35-1254 ファクス:37-1061

ホームページ

平塚市立なでしこ公民館

検索

公民館ホームページでは、
カラー版を掲載！

新年度スタート



令和7年度がスタートしました。新たな環境での生活が始まる人が多くいる季節です。

なでしこ公民館では、今年度も「こいのぼり」が空を舞い上がります。4月下旬ころから泳ぎ始めますので、こいのぼりを眺めてホッと一息いかがでしょうか。

子どもたちの学習スペースも水曜、日曜で開放中です♪

公民館からのお知らせ

公民館職員の交代について

公民館事務員の内田知佳が退職し、後任として金目公民館から佐川万里を迎えました。在任中、地域のみなさまには大変お世話になりました。後任につきましても、前任同様よろしくお願いいたします。また、みなさまから一層、親しまれている公民館となるように今年度も公民館の職員一同、全力で活動してまいります。よろしくお願いいたします。

子育てサロン「あ〜んとあんと」

4月3日(木)、17日(木)

5月15日(木)

10時～11時30分

0、1、2歳児をもつお母さんたちの

「出会い」「和」「巣立ち」を応援します。

お父さんも来ていただいています。お気軽にご参加ください。



(福)：福祉村開所日	10時～正午	13時～15時
(パ)：パークゴルフ開催日	10時～正午	
(ぬ)：大人のぬり絵	13時～15時	
(あ)：子育てサロン「あ〜んとあんと」	10時～11時30分	
(ウ)：なでしこ公園ウォーキング	10時～11時	
(手)：手作りサロン	13時30分～15時	
(編)：編み物の会	10時～12時	
(お)：おはなし会	14時～14時30分	
(図)：図書ボランティア活動日	14時～16時	
(暮)：こども囲碁教室	9時30分～11時30分	

公民館・福祉村などの予定カレンダー

日	曜日	スケジュール
4月		
16	水	(福)(パ)
17	木	(福)(ウ)(あ)
18	金	(福)
19	土	(福)(図)(暮)
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	(福)(パ)
24	木	(福)(ウ)(ぬ)
25	金	(福)
26	土	(福)(図)
27	日	
28	月	
29	祝	
30	水	(福)(パ)

日	曜日	スケジュール
5月		
1	木	(福)(ウ)
2	金	(福)
3	祝	
4	祝	
5	祝	
6	祝	
7	水	(福)(パ)
8	木	(福)(ウ)(ぬ)
9	金	(福)(手)
10	土	(福)(図)(暮)(お)(編)
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	(福)(パ)
15	木	(福)(ウ)(あ)

なでしこ公民館 など のイベント

第31回なでしこ公民館まつり



波の泉ステージ



ベジ太がやってきた



芸能発表



モルック体験



長谷川館長の開催挨拶！



展示発表



野外ステージ

3月1日(土)、2日(日)に「第31回なでしこ公民館まつり」を開催し、芸能発表、展示発表に加え食堂、模擬店、催し等で多くの方にご来場いただきました。ご協力いただいた全ての皆様に感謝いたします。

公民館(自主事業)

こども囲碁教室

4月5日(土)、12日(土)、19日(土)
5月10日(土)、17日(土)
9時30分～11時30分

教室には小学生から中学生まで幅広い年代の子どもたちが参加しています。

初心者の方も大歓迎です。ぜひ、遊びにきてください。



おはなし会

■4月12日(土) 14時～

会場：なでしこ公民館2階和室

- おはなし 「にんじんとだいこんとごぼう」
- 絵本 「えらいこっちゃんのいちねんせい」
- 紙芝居 「つんつんや」

♪次回のおはなし会は5月10日(土)に開催します♪

※内容は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



なでしこ地区の歴史風景72 横須賀海軍通信学校分校

写真のコンクリートの境界標識杭は、海上自衛隊平塚官舎跡の敷地内南西端の階段下に設置されている(注1)。上部にM(波を表しているのか)のような印が2つ縦に並び、その下に「海」とある。海軍用地を示す境界標識杭である。そこに横須賀海軍通信学校分校があった。

『平塚市郷土史事典』によれば、昭和17年(1942)8月頃、平塚西海岸の松林の中に分校が新設された。月湘庵付近(注2)が送信所で、花水台の海上自衛隊平塚宿舎跡に受信所が設けられた(注3)。20～30名の将兵が木造2階建てで通信訓練に励んだ。

『炎の証言』(第16号)の「聞き取り」によると、受信所の方には、電波塔が立っていて、月に一週間ほど通信訓練をする兵隊が来た。敷地内に小さい家があって、校長先生かなにか偉い人が奥さんや家族と住んでいた(注4)。

通信学校の内部の様子については、「海軍通信学校」の写真(注5)が参考になる。モノクロで色をはっきり分らないが、教室のような部屋に、白シャツ・白ズボンで丸刈りの若い将兵が、横列5人・縦列4列ぐらいに整列し、ヘッドホンをつけて、長机に置かれた無線機(一人一台)に向かっている。左の壁に横一列に帽子が掛けられている。後方左横には、軍服を着た教官らし

き人が立っている。

海軍通信学校分校は、平塚空襲の時に送信所の方が壊滅したために、米軍の本土上陸に備えて水上特攻訓練場になったようだ。本土決戦準備のための特攻船艇隊員訓練であろう(注6)。

(注1) 千疊敷山(湘南平)にも同じ境界標識杭があった。『自然と文化』No. 35. 2021. P29写真4

(注2) 『平塚空襲』2021によれば、現在の浜岳神社に電波塔があったと記されている。

(注3) 『レンズが見たひらつか』(平塚市博物館2021)17P参照

(注4) 『炎の証言』(第16号)平成26年「通信学校の西では」10P参照

(注5) <http://www.asahi-net.or.jp/un3k-mn/navy-stuu.htm>検索。

(注6) 昭和20年7月陸海軍統帥部の協定(作戦指導の大綱)に「主として特攻戦法を以て米軍上陸船団を撃滅す」とある。『敗戦前後の日本人』(保坂正康2009)参照

(補注) 官報(1930年05月30日)に海軍通信学校令が昭和5年5月29日勅令104号として公布された(国立公文書館デジタルアーカイブ)。海軍通信学校については『新横須賀市史 別編 軍事』「海軍通信学校(横須賀通信学校)」(平成24年)に詳しい。



海軍用地を示す境界標識杭

中條利昭(なでしこ地区在住)

講座のお申込みでいただいた個人情報は、その事業に係る事務、連絡のみに使用します。また、講座の様子を記録した写真等は、講座の開催の記録として、公民館だよりやホームページ、その他メディアに掲載されることがありますのでご了承ください。